

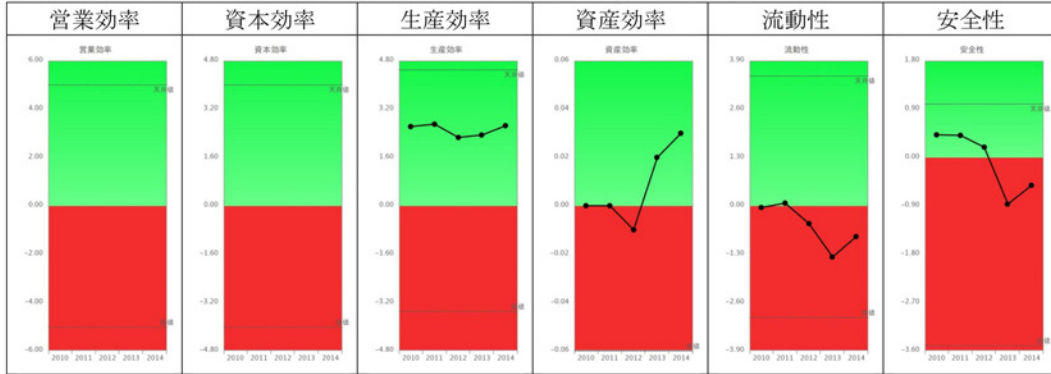


経営分析ニュース

第 106 号
2014 年 9 月 20 日発行
毎月 20 日発行

今回は、シャープ株式会社を分析しました。2008 年 9 月のリーマン・ショック以降どうなったでしょうか。

2010～2014 年の 5 年間を分析してみました。下記グラフが各親指標です。



営業効率（儲かるか）、資本効率（株主評価）を空欄にしてみました。
営業効率、資本効率の基礎データを載せますので、グラフがどうなるか、一度考えてみてください。

		単位: 百万円				
財務指標		2010	2011	2012	2013	2014
営業効率	売上高総利益率	19.10%	18.85%	16.78%	10.51%	18.13%
	売上高営業利益率	1.88%	2.61%	▲1.53%	▲5.90%	3.71%
	売上高経常利益率	1.12%	1.96%	▲2.66%	▲8.33%	1.82%
	売上高当期利益率	0.16%	0.64%	▲15.31%	▲22.00%	0.39%
資本効率	総資本経常利益率	1.09%	2.05%	▲2.50%	▲9.89%	2.44%
	自己資本経常利益率	2.91%	5.64%	▲10.14%	▲153.14%	25.72%
	自己資本当期利益率	0.41%	1.85%	▲58.30%	▲404.45%	5.58%

営業効率、資本効率のグラフは、赤信号領域と青信号領域に分かれていて、底値と天井値が点線で示されています。底値は全くダメで、天井値は 100 点満点です。
営業効率のどの財務指標が成長・衰退と関係が深いかを考え、その他の財務指標も加味しながら、5 期プロットしていきます。次に資本効率も同様に考えてください。

まず、2010 年 2011 年 2014 年は黒字です。このような売上高利益率の場合、赤信号領域になるでしょうか、それとも、青信号領域になるでしょうか。
2012 年 2013 年は赤字ですので、これは赤信号領域になるでしょう。
青、赤、それぞれの領域の中で、どのレベルにプロットしますか？

生産効率、資産効率、流動性、安全性は、統計手法を用いて、各財務指標を統合計算してプロットしてあります。人間の頭では、そのような複雑な計算はできないので、感覚でプロットしなければなりません。

生産効率（人の利用度）は、青信号領域で問題ありません。
資産効率（資産の利用度）は右肩上がり回復しています。これは、経営が悪化したためリストラを行い、その過程で資産効率が改善していったのでしょうか。
流動性（短期資金繰り指標）は、悪化トレンドで、2014 年改善。
安全性（長期資金繰り指標）も同様で、流動性より少し良いです。

続いて、ご記入いただいた営業効率・資本効率も含め、安全性までの指標を統合して、企業力総合評価をプロットしてみてください。

各指標から企業力総合評価にまとめ上げる時、各指標に成長・衰退の因果関係の強さを加味してプロットしなければいけません。言い換えれば、各指標を成長・衰退の重要度の順に並べ、数値化して合計するのです。それができなければ、企業力総合評価は出ません。重要度の割合を営業効率は 5、生産効率は 3.4 という風にウエイト（重み付け）として計算しなければならないということです。

営業効率、資本効率の指標にプロットできましたか？
企業力総合評価はどうですか？
指標を一覧できなければむずかしいかも知れません。シャープの社長ではないのだから、自社は分かるけどシャープの評価はわからないと言われるかもしれませんが、自社の決算書だと思って頑張ってグラフを完成させて下さい。

もし、企業力総合評価が書けないなら、それは決算書を見ても成長したのか衰退したのか分からないということです。コストを掛けて作成する決算書ですから、もっと活用しないと勿体無いです。

まとめ

実はこの計算は人間の頭ではできません。当然私もできませんから、統計学に頼り、多変量解析を行ってグラフを作成しています。
各指標や企業力総合評価の計算は、システムに任せればすぐに出ます。その結果を踏まえて、経営戦略・戦術を練ることに多くの時間を割けばよいのです。

経営分析がむずかしいと感じるのは、1つ1つの財務指標の意味が理解できても、あるものは良くなり、あるものは悪くなり、だから結局どうなのか？というところで頭が止まってしまう、先に進めなくなるからです。それは、どうすればいいかを考える思考の出発点に立っていないということです。

*ご希望の方には回答をお知らせしますので、当事務所までお問い合わせください。

編集後記 できないことを無理にしようとしなくて、できることをもっとする方が効率よさそうですね。言い訳もありますけど。

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 4-9-21 SARUKI ビル 4F 猿木真紀子税理士事務所
Tel. 06-6631-4570 Fax. 06-6631-7970 info@saruki-tax.jp http://www.saruki-tax.jp

